

**平成 31（令和元）年度近江八幡市子ども・子育て会議  
第 3 回教育・保育給付部会（要録）**

日 時：令和元年 10 月 28 日（月）午後 2 時 30 分から  
 場 所：近江八幡市役所 4 階 3・4 委員会室  
 出席委員：◎久家 昌代委員、浅井 雅委員、福永 利明委員、寺村 浩委員、  
 大野 康記委員、見島 めぐみ委員  
 （欠席）○田中 裕貴委員、北 拡大委員、中井 佳代子委員、  
 平井 徹委員、小西 ひとみ委員、  
 ◎：会長等、○：副会長等  
 議 題：（1）教育・保育給付の見込量及び確保の量・確保策（案）について  
 （2）第二期子ども・子育て支援事業計画（案）について  
 （3）第二期子ども・子育て支援事業計画に係るパブリックコメントに  
 ついて  
 （4）第二期子ども・子育て支援事業計画に係る愛称について

会 議 内 容

1 開会

2 あいさつ（部会長）

3 議題

（1）教育・保育給付の見込み量及び確保の量・確保策（案）について

事務局から教育・保育給付の見込み量及び確保の量・確保策（案）について説明した。  
 →事務局案で承認

（2）第二期子ども子育て支援事業計画案について

事務局から第二期子ども子育て支援事業計画案について説明した。

委員	ご説明いただいた第 2 章 5 ページの行動目標 2 のタイトルの「母性」に違和感がある。育休をとる男性も増えているので、「保護者」とかそういった言葉に変えたほうがいいのでは。
事務局	第 2 章は、現行の計画に対しての取り組み状況や課題のため、現行のタイトルのままを使い、次期の計画に関しては、「親と子の心と体の健康づくり」というタイトルを付けさせていただきたいと考えている。
委員	第 4 章 13 ページの小・中学校の外国語活用の推進事業について ALT の人員維持ということだが、ALT だけか。日本人教師はないということか。
事務局	指標として設定されているのは ALT の授業数と聞いている。
委員	派遣時数として中学年 15 時間、高学年 50 時間ということか。1 年間の英語の時数より少ないが。
事務局	全て ALT がまかなう授業ではないと聞いている。質を上げるような何か取り組みはしたいと担当課は言っていた。
委員	ALT だけでなく日本人教師の時数もいられたらよいと思った。
委員	17 ページのコミュニティ・スクール推進事業の 21 校というのは幼稚園小学校中学校全てか。

事務局 委員	<p>確認する。</p> <p>20 ページの歩道と通学路の安全対策について、まち協から情報収集とあるが、通学道路安全アドバイザーもおられるのでまち協に限定するのはどうなのか。</p>
事務局	<p>事務局として限定したわけではないが、学校教育課に確認したところ、まち協が中心と聞いたのでこういった記載になった。</p>
委員	<p>27 ページの「特別支援教育」について、何をするのか表現がわかりにくいので「～の充実」などの表記にしたほうがよいのではないかと。</p>
委員 事務局	<p>28 ページ「やさしい日本語」の普及が空白になっているためわかりにくい。</p> <p>「やさしい日本語」はA4 裏表4 ページ程度の手作りされた資料。数字で目標を出すのが難しかったのだと思う。確認する。</p>
委員	<p>第4章の2 ページとかには基本目標 I がローマ数字で書いてあるが、3 章の16 ページには数字、ここは統一した方がよいのでは。</p>
事務局	<p>修正する。</p>
委員	<p>9 ページの食育の推進について、目標値の 106 回以上や 133 回というのは、どういう範囲か。</p>
事務局	<p>幼稚園・保育園・こども園で実施する回数が 106 回で小学校・中学校も足りて 133 回ということ。</p>
委員	<p>19 ページの良好な住環境の整備のところ、今小学校の地域の子ども会で公園の草刈りをやっていて、マダニやヒアリのことがあるので、小学生を草刈りにかり出すのはどうなのかと保護者さんが心配されている声がある。草刈りを子ども会が続けていくのは、子どもの数が減っているのが難しいのではないかと話もあり、草刈りを市が請け負ってくださる計画はないのかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>公園にも、農村公園などいろいろある。都市公園は市の公園課が責任持って管理をしているが、自治会でつくった公園は、設置したところが責任を持つことになるので、今の子ども会が受け持つとかどうかというのは、自治会の中で決めてもらうことだと思う。</p>
委員	<p>避難場所になっているが、そういった場合でも一緒か。</p>
事務局	<p>一緒だと思う。</p>
委員	<p>運動場も、マダニやヒアリの対策はあるのか。</p>
事務局	<p>駆除というのはなかなか難しい。例えば幼稚園などが遠足とかで出かけるときは肌を出さない服装にすとか、そういうことでしか対策はないと思う。注意喚起は市の方からさせていただいているので、それぞれで注意してくださいということにはなると思う。</p>
委員	<p>7 ページの放課後児童健全育成事業について、実際働きにくい時間帯の職員の確保に困っているので、どこかに書いていただくのは難しいか。</p>
事務局	<p>放課後児童クラブの支援員の確保が難しいということは認識しているが、クラブによって差はある。ハード面だけでなく支援員の確保も含めてソフト面についても、この「居場所の確保」というところに包含して表現していることをご理解いただきたい。</p>

委員	19 ページについて、大きめの遊具がおいているような公園等の整備はないか。
事務局	令和3年度に竹町の健康ふれあい公園の中に遊具など設置するなどして、児童向けの機能を付加すると聞いている。
委員	重点取組目標とは別に、主な取組というのは、現在している取組を拡充していくということで、捉えてよろしいか。
事務局	前回の部会の中でお示した現行の計画の事業を整理し直し、新しい事業も入れ、148の事業となった。少なくとも今後も実施していく事業であることは確か。重点的に取り組み、拡充していく事業は重点取組の方にあげている。
委員	あれもこれも全部できるのかという疑問がある。もしも重点取組がかなり必要であればそこに全精力を注入するためには、今までやっていた取組をそのまま続けるのではなく、少し休止するとか、こちらに組み込まれるということも出てくるのではないかと考える。財源は限られていると思う。財源の裏付けがない重点取組とか目標はかなり困難なことで、そういったこともありうるというところも持ちながら計画を進めていただければありがたい。
事務局	市の事業は子育て支援関係以外にも多くの事業をしていて、各事業の進捗管理や見直し成果など各担当課でも検証している。その中で効果が上がらない事業については廃止をしていく、新たに生まれたニーズに対しての施策をしていくということは、当然起こってくると思うので、そういったものはこの計画にも反映していきたい。
委員	26 ページについて。「障がい児に対する支援」や、「障がい児の保護者に対する支援」というような記載があるが、「障がい児」と書いてしまうとやっぱり保護者が見る場合、少し足踏みしてしまう場合があるのでは。保育所等訪問支援事業などは保護者の中には「障がい児」と捉えていない方もいる。記載する場合、例えば「支援を必要とする対象児」や「支援を必要とする子ども達の保護者」のように記載した方がよいと思う。
事務局	「障がい児」や「障がい児の保護者」という文言を使わないように計画をつくっていくことは難しいと思うが、障がい福祉課や発達支援課に確認する。
委員	14 ページについて児童図書貸出冊数前年度比 100 パーセント以上とあるが、前年度比と言われても何冊ぐらい借りられているかが何もわからないので、参考数値をあげていただいた方がわかりやすいと思う。
事務局	31 年度の数値がまだ出ていないためこういったこういう表記になったと推察する。
委員	参考数値で 30 年度が上がっている箇所があったので、それでもいいと思う。
委員	26 ページの発達支援課、障がい福祉課、27 ページの学校教育課について、いくつか同じような取組がわかりにくい。この辺りは同じことをやっているのか違う業務をされているのか教えていただきたい。
事務局	学級がどうあれ、年齢がどうあれ、支援の幅がどうあれ支援計画を立てるなど、支援を必要としているお子さんを見ていくということでは同じことをしている。その呼び方として、学校教育法の中では幼稚園も含めて特別支援教育という名前を使うし、保育所では障がい児保育と名称で呼びます。さまざまな事

	業名が以前のまま使っているところがある。
--	----------------------

(3) 第二期子ども子育て支援事業計画に係るパブリックコメントについて

事務局から第二期子ども子育て支援事業計画に係るパブリックコメントについて説明した。

委員	情報として広報に載せるとか、園とかでプリントが配られるということはないのか。
事務局	12月の広報でパブリックコメントをすることについて周知させていただく予定。
委員	4の提出先と8の問い合わせ先で、全角と半角、数字やカンマなどの表記を揃えた方がよいと思う。
委員	統一する。
会長	では議題3第二期子ども子育て支援事業計画に係るパブリックコメントについては、資料3とさせていただくということによろしいか。
委員	(一同承認)

(4) 第二期子ども子育て支援事業計画に係る愛称について

事務局から第二期子ども子育て支援事業計画に係る愛称について説明した。

→事務局案で承認。